

ダダイスト中也

中原中也のダダイズム

1924



中原中也



令和6年度企画展I
「ダダイスト中也のノート」

2024年 4月17日(水) ~ 7月28日(日)



NAKAHARA CHŪYA MEMORIAL MUSEUM
ANNIVERSARY

中原中也記念館

16歳の中也が当時住んでいた京都の古本屋で手に取ったのが、高橋新吉の詩集『ダダイスト新吉の詩』です。

従来の文学表現と一線を画すダダの詩に魅了された中也は、「ダダイスト中也」を名乗り、新吉の影響が強く感じられるダダの詩をノートに綴るようになります。

そのうちの1冊である「ノート1924」が、使用開始から100年を迎えたのを記念し、この度展示を開催します。

「ノート1924」の詩篇、『ダダイスト新吉の詩』を通じて影響を受けたダダイズム、当時の中也の暮らしぶりなどの紹介を通じて、中也の詩人としての始まりの姿を追います。

この中にも、新吉の詩を採り入れたものがある。新吉の詩は、ダダの詩と異なり、詩の形式を破り、言葉の遊びを楽しむ。中也は、新吉の詩を採り、自分の詩と融合させている。これは、中也が新吉の影響を受けていることを示している。また、中也は、新吉の詩を採り、自分の詩と融合させている。これは、中也が新吉の影響を受けていることを示している。

この中にも、新吉の詩を採り入れたものがある。新吉の詩は、ダダの詩と異なり、詩の形式を破り、言葉の遊びを楽しむ。中也は、新吉の詩を採り、自分の詩と融合させている。これは、中也が新吉の影響を受けていることを示している。また、中也は、新吉の詩を採り、自分の詩と融合させている。これは、中也が新吉の影響を受けていることを示している。

この中にも、新吉の詩を採り入れたものがある。新吉の詩は、ダダの詩と異なり、詩の形式を破り、言葉の遊びを楽しむ。中也は、新吉の詩を採り、自分の詩と融合させている。これは、中也が新吉の影響を受けていることを示している。また、中也は、新吉の詩を採り、自分の詩と融合させている。これは、中也が新吉の影響を受けていることを示している。

中原中也記念館

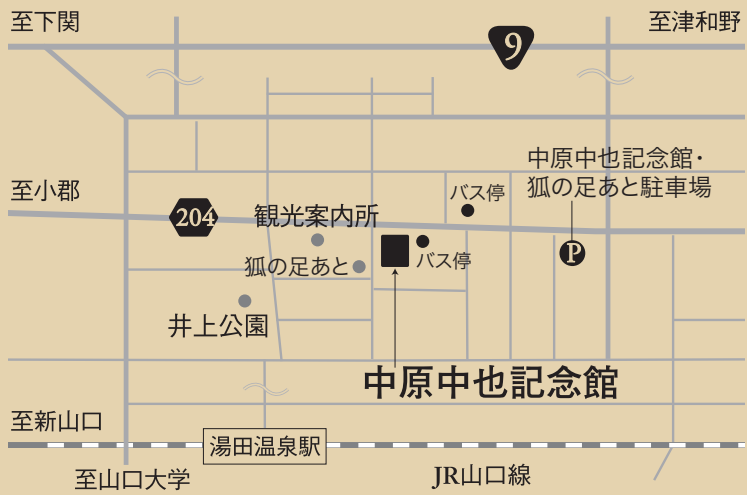
〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21
 TEL:083-932-6430 / FAX:083-932-6431
 URL:https://chuyakan.jp/

開館時間 [~4月] 午前9:00~午後5:00(入館は4:30まで)
 [5月~] 午前9:00~午後6:00(入館は5:30まで)
 休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日、ただし4/30は開館)
 毎月最終火曜日
 入館料 一般330円(275円) 大学生220円(165円)
 18歳以下、70歳以上[要証明書]無料
 ※()内は20名以上の団体料金



プロムナード・トーク (展示解説)

5月25日(土)、6月23日(日)、7月15日(月・祝)
 いずれも14:00~(45分程度) ※予約不要、要入館料



画像：立命館中学在学時の中原中也、「ノート1924」表紙と詩篇、正岡忠三郎宛中原中也書簡(1925年2月23日)、中原中也が17歳の時住んでいた下宿の建物